

# 新年度予算は

## どう議論されたのか

### 総務文教常任委員会

委員長 魚原満晴

**問** ふるさと応援基金を瀬戸公園改修事業に充てるとの説明であったが、子どもを遊ばせる公園や遊具が少ないとの意見もあるので、子育て事業にも充てることを検討いただきたい。

**答** 各課の予算要求時点で、財政課と議論している。今年度は、大島大橋架橋40周年ということ、瀬戸公園改修に充当した。

今後も、予算編成の段階で議論していく。

**問** 新地方公会計制度とはどのようなものなのか。また、固定資産台帳を作成すれば減価償却を行うのか。

**答** 貸借対照表等を作成し、公

表することで財政状況を分かりやすくしようとするもの。固定資産の減価償却は行う。

**問** 空家有効活用事業の修繕費が1軒当たり300万円とのことであるが、これを超える場合の対応は。

**答** 対象家屋の事前審査を行い、300万円を超えないように修繕の見積額が200〜250万程度の空家を選定している。

**問** 教員住宅の充足率は。総数39戸中、入居が29戸、空き家10戸。

**問** 語学留学支援金の留学先がフィリピンである理由と対象者及び留学期間は。

**答** フィリピン英語が標準的な英語に近く、日本人に受け入れ安いこと。マンツ―

マンの授業体制が成果を上げていること。安価であること。連携協定を結んでいる山口大学においても実績があることが主な理由。対象者は、本町に住所を有



総務文教常任委員会

する高校生を主体とし、中学生も対象とする予定で、留学期間は10日間程度。

**問** 本町の児童生徒の学力が低いと聞いているが、山口県や全国と比較してどのような状況か。

**答** 4月に行われた全国学力学習状況調査では、小学校では5科目、中学校では1科目、全国平均より高かった。県平均との比較では、小学校はほぼ同レベル、中学校は低い。

**問** グローバル推進事業は、小学校低学年の英語教育と理解しておりますが、取り組み成果と今後の予定は。

**答** 小学校3校で取り組んでいる。英語授業が低学年に移行するかもしれないという国の動向を見ながら今後広げることについて検討する。3校の取り組みは良好と聞いている。

**問** 増刷される、きょうど大島の配布先は。

**答** 町内の児童である。